

## ● 島根県の国際交流と多文化共生におけるCIRの活躍 —— 島根県環境生活部文化国際課

### グローバル化が進む社会で活躍する人づくり

島根県では、2020年3月に県政の指針となる「島根創生計画」を策定し、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指して各種施策を推進しています。

文化国際課では、外国人との相互理解を深め、多文化が共生し、グローバル化が進む社会で活躍する人材が育つ地域をつくるため、「国際交流と多文化共生の推進」に取り組んでいます。

現在、ブラジル、韓国、カナダ出身の3人の国際交流員（CIR）が、職員と一緒に仕事をしています。

### 島根県における多文化共生

島根県の外国人住民は増加傾向にあり、中でもブラジル人は外国人住民の4割を占め、定住化も進んでいます。こうした中、ブラジル出身CIRのフェリペさんは、ポルトガル語の翻訳や通訳に携わり、ブラジルにルーツを持つ子どもの高校進学にあたり、保護者面談や入学手続きの説明会で通訳を行うなど、さまざまな支援の場で活躍しています。

また、県では日本人向けに多文化共生セミナーを開催しており、各CIRが県内の学校や公民館などを訪問し、



多文化共生セミナー参加の中学生と



多文化共生セミナーでのゲーム体験

自国の文化や生活習慣を紹介する活動をしています。参加者からの質問に答えるだけでなく、自国のゲームを紹介し、一緒に体験してもらうなど、楽しく異文化を知る工夫をしています。参加者からは、「海外文化への関心が高まった」といった感想が寄せられ、多文化共生を進める良い機会となっています。

### 楽しく知る・学ぶ・交流する 「韓国理解講座」

島根県と韓国は、地理的にも歴史的にも深い関係があり、県民の韓国に対する理解を深め、韓国との交流を担う若手リーダーを育成するために、韓国理解講座を実施しています。

韓国出身CIRのジョンヒョンさんは、本講座の企画・調整・運営を行い、加えて自らも講師を務め、県民と交



韓国理解講座の様子

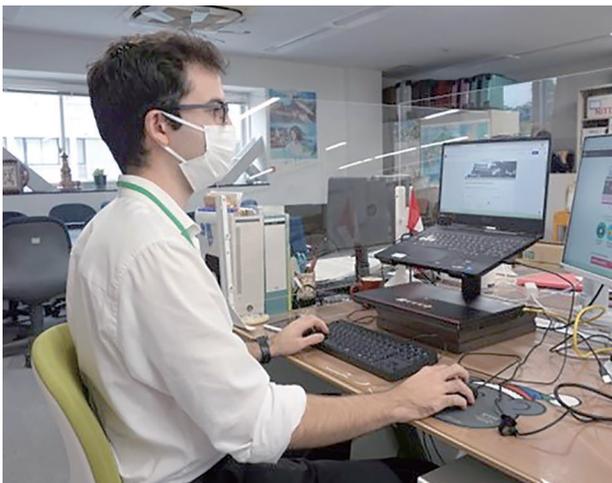
流しながら韓国文化を紹介するなど、中心となって活躍しています。2021年には韓国の伝統工芸（螺鈿細工）の講座を行い、「参加者の方の一人が、講座が終わってから螺鈿工芸を趣味の一つとして続けてくれていると後から知って、とても嬉しかった」とジョンヒョンさんは話しています。

## ALT・CIRの生活、 仕事を支えるPAの取り組み

カナダ出身 CIR のオリバーさんは、翻訳・通訳以外に、取りまとめ団体アドバイザー（PA）としても活躍しています。

週に1回、県内のJET参加者に向けてメールマガジンを配信しており、その内容は、地域のイベント情報、その週にあった出来事、県内の新型コロナウイルス感染症の状況など多岐にわたっています。メールマガジンを楽しく読んでもらうため、写真や映像も使い内容を充実させる工夫をしています。

また、このメールマガジンは、JET参加者の「コミュニティの場」としても活用されています。最近見た映画、聞いた音楽やおいしい食べ物などの情報発信や感想などのやり取りを行うことにより、JET参加者間の絆を深める役割を果たしています。



メールマガジンを作成するオリバーさん

## 島根を知ってもらいたい！ CIRによるWeb情報誌

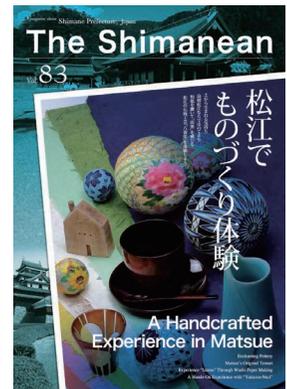
島根県の魅力をより多くの外国人に知ってもらうため、2013年からCIR全員が協力して年2回情報誌を制作・発行しています。CIR自ら島根県内を取材し地域の

文化や人に触れ、記事を多言語で作成し、県のホームページへの掲載、海外の県人会へのWeb情報誌提供など、国内だけでなく海外へ向けても発信しています。

2022年7月発行の最新号では、「松江でものづくり体験」と題し、CIRが手まり作りや漆絵の絵付けを体験する様子を紹介しました。「職人の皆さんが、自分の仕事に誇りを持ち、それを次の世代に伝えようとする姿勢に感動した」とオリバーさんは話しています。



漆絵の絵付け体験の様子



情報誌の表紙（英語版）

## CIRの皆さんと共に

CIRの皆さんの活躍は、国際交流と多文化共生を推進する上で大きな力となっています。県民が異文化に触れ、外国人との相互理解が深まるように、また、外国人住民の皆さんが地域の一員として安心して心豊かに暮らすことができるよう、CIRの皆さんと共に取り組んでいこうと考えています。



CIRの3人